

令和6年度

第二回中央区環境行動計画推進委員会議事録

中央区環境土木部環境課

令和6年度第二回中央区環境行動計画推進委員会

日 時 令和7年1月23日(木) 14:00～16:00

場 所 区立環境情報センター研修室

(事前配布資料)

資料1 中央区環境行動計画2023評価案

資料2 中央区環境行動計画2023の進捗評価(令和5年度)(案)

資料3 中央区環境行動計画推進委員会の公開について

別紙 令和6年度第一回中央区環境行動計画推進委員会におけるご意見とその対応

参考 集団回収量経年変化

(当日配付資料)

- 1 令和6年度第二回中央区環境行動計画推進委員会 次第
- 2 中央区環境行動計画推進委員会委員名簿
- 3 令和6年度第二回中央区環境行動計画推進委員会座席表
- 4 令和6年度第一回中央区環境行動計画推進委員会【議事概要】

(1) 中央区環境行動計画2023の評価案について 及び

(2) 中央区環境行動計画2023の令和5年度進捗評価について

●委員

本日の議題に入る。事務局から資料1及び資料2の説明をお願いします。

●区

(資料説明)

●委員

説明に対しご質問、ご意見はないか。

●委員

基本目標3 No.1について、区内ごみ量は1年度遅れで把握可能であるため、令和2年度の実績値を基準値とすれば、前年度の⑧進捗率についても評価できるということ

か。①基準値の設定年度と④実績値が1年度遅れであるということの整合性がとれておらず、文章の説明と数値がずれて見える。令和14年度に把握可能な数値を基準値とするというロジックで統一するのであれば、①基準値は令和2年度になるのではないか。

●区

基本的には計画策定時に把握可能な最新年度である令和3年度の実績を①基準値としている。例外として温室効果ガス排出量に関する指標では、平成25年度実績としている。そのため、区内ごみ量についても、①基準値は令和3年度の実績値とし、④当該年度の実績値は、集計時に把握可能な最新年度の実績値としている。

●委員

令和3年度を①基準値とすることに異論があるわけではないが、遠回しな説明で、分かりにくいと感じる人が多いのではないかと思った。

●委員

基本目標3 No. 1について、④令和5年度の実績値において、③最終目標年度の増減量を既に上回っている状況だが、冊子の配布や意識の醸成によって、実態が改善されるのか。

●区

令和2年度に策定した一般廃棄物処理基本計画において、令和元年度のごみ量を基準として令和12年度の目標値を84,491 tとしており、本評価においても引用している。一般廃棄物処理基本計画における基準年度である令和元年度から中間目標の令和7年度までのごみ量を平準化すると、順調に減らしていると判断できる。④令和4年度実績は86,404 tであり、令和4年度の目標値である96,561 tを下回るため、最終的には目標値に達すると考えている。

●委員

基本目標3 No. 2の家庭ごみの1人1日当たりの排出量は改善が見られるが、事業系ごみの排出削減のために打つ手はないか。

●区

基本目標3 No. 3の通り、事業系ごみは再利用率を指標としているが、コロナ禍以降、感染拡大防止のために紙コップやペーパータオルが利用されていたようであり、ウイルスが付着している可能性があることから、リサイクル回収できず、燃えるごみとして排出されていた。紙コップやペーパータオルが分類されるその他の紙について排出

量が増えているため、今後は重点的に指導していきたい。

●委員

一般の人は、進捗率が大きくマイナスとなっている部分に目がいくと思う。説明いただいたコロナによる分別への影響等について記載し、マイナスとなっている要因が分かるようにしたら良いのではないかな。

また、エネルギー消費量や二酸化炭素排出量について、中央エコアクトというアクションがあるように、事業系ごみについても何かしらのアクションが今後必要ではないかな。

●区

コロナ禍に、ウイルスが付着している可能性がある紙は再生に適さないため回収しないという事情があったが、現在もこれが定着している状況であるため、指導し改善していく。

●委員

進捗率がマイナスとなっている指標については、分かりやすい説明が必要であると思う。また、現在考えている取組だけで不十分な場合は、事業系の分別回収を増やす、中央エコアクトのごみ版を運用する等、さらなる取組を検討する必要がある。コロナによる一過性のものであれば問題ないと思うが、進捗率がマイナスの状況が続くようであれば、対策を考えておく必要がある。

●区

進捗率がマイナスとなっている部分について、区民の皆さんが見て分かりやすい説明とし、また、マイナスが続くようなことにならないよう、どのような対策ができるか今後考えていく。

●委員

久塚委員の意見は No.1の文章に、現在取り組んでいる内容等をもう少し書けないかという意図だと思う。

基本目標 3 No. 1 については②目標値に対して大きく後退した状態であり、曖昧な取組の説明だけでは不十分であるという久塚委員の意見だと理解する。表中の数値や表現を大きく変えるということではなく、現状分析をしているなら、その内容をしっかりと書いた方が良いということである。先ほどお話しいただいたような説明が不足していると、啓蒙しかしないように受け取られてしまう。

●区

現状の分析と目標値に向けた取組を分かりやすく記載するようにする。

●委員

中間評価と総合評価の大きく2回の評価を行うということであったが、基本目標4 No.4と No.5の調査は概ね10年に1度であり、中間評価を行うことができるのか、また難しい場合はどのような対応をしていくのか予め考えておく必要がある。資料の修正を求めるものではない。

●区

どのような形で中間評価を行うのか、取組をどのように見せていくのかを所管部署と相談しながら考えていく。

●委員

基本目標1 No.5について、ZEB化はゼロを目指しているのか、ゼロではなく一定レベルを目指しているのか。また、No.6について制度化の準備中とあるが、いつ頃準備ができるのか把握しているのであれば記載した方が良いのではないかと。

個人的な感想として、省エネ機器等導入費助成についてエアコンやLEDの導入助成を同時に受けられるとより良いのではないかと。また、参考資料の集団回収量について令和5年度は大きく減少している。企業に対して集団回収ではごみシールが不要であることを伝えることで、中小規模の企業等からの回収量が増えるのではないかと。

●区

基本目標1 No.5の区有施設のZEB化について、100%のZEBでは創エネと省エネが必要となる。本区では、マンションやビルが多く、創エネが難しいため、ZEB Readyを目指している。

No.6について、民間の建物に対して区としてどのような誘導をしていくか、理解を得ながら進めていくかが課題であると考えている。現在、来年度からの制度運用を目指して、庁内で具体的な中身を調整しているところであり、資料中にいつからということに記載するか否かは検討させていただく。

省エネ機器等導入費助成について、現在はLEDとエアコンで異なる年度であればいずれの助成も受けられる仕組みとしている。多くの事業者が助成制度を利用していたために、単年度ではいずれか一方の助成を選んでいただく形としている。

●区

集団回収量が減少している要因としては、9割以上を占めている紙類の回収量が減

少していることが挙げられる。また、集団回収はあくまで家庭から出される資源について、区内の町会・自治会等住民が行う自主的な回収であり、事業者は自己の責任において資源を回収すべきことから、集団回収になじまないものと考えます。

●委員

基本目標4 No. 2の緑化ボランティア参加人数について、①基準値より②目標値が小さいことに違和感がある。②目標値を平成31年策定の緑の基本計画に基づいて設定しているためだと思うが、設定年度を繰り上げるか、②目標値を改定することはできないのか。

●区

平成31年時点の社会状況から目標値を設定したが、担い手が増加し、実績値が目標値を超えている。現状の目標値は緑の基本計画から参照してきたものであるが、目標値や増減率の見せ方を、環境課と調整の上、考えていく必要があると感じた。現状では、このような記載方法となることをご理解いただきたい。

●委員

基本目標4 No. 3の文章で、公園・緑地面積が増加したことについてのみ説明しているが、減った部分にも言及した方が良いのではないかと。基本目標3 No. 4の資源の集団回収登録団体数については、新たな登録があった一方で、解散した団体があったことが記載されている。

●区

表中の数値をha単位で記載していることから、説明文においては面積の大きい変化を取り上げ、区内全体として公園・緑地面積が増えていることを示す意図であった。実態としては、年度毎に公園の工事があり、一時的に利用が制限されることもあるが、そこまでを本評価に記載するのは、視点が細かくなり過ぎてしまうと考えている。

涌井委員のご意見は、工事中に緑が減っている箇所に関するご発言だと思うが、区のカウントとしては、工事中は一時的なものなので公園数や緑地面積は減っていないものとしている。

●委員

初めの基準年度に関する意見について、資料1の中に当該年度をいつの年度の実績値とするかについて記載はあるか。5ページの見直しの基本的な考え方の工.に基準値の年度について説明があるが、当該年度についても記載した方が良い。また、当該年度の実績値が他と異なるものについてセルの中に記載していると思うが、資料1の5

ページと資料2の冒頭に表の見方を記載いただきたい。

また、目標年度における評価について、評価を行う時点で把握可能な実績値で評価を行うという考えであるなら、その旨も記載しておいた方が良い。

●区

資料1に当該年度に関する説明は記載していない。ご意見を踏まえ、資料1の5ページや資料2の冒頭への追記内容を検討する。

●委員

基本目標3 No. 1について、計画策定時に把握できていなかった令和3年度実績値を①基準値としているのは、令和2年度の実績値がよりコロナの影響を受けており、令和3年度実績の81,180tより小さいということが大前提にあると思う。一方、本来基準値はコロナの影響を最も受けていた令和2年度実績値のはずであり、コロナ禍の実績を基準値とすることになるため、そこから増えているのは致し方ないとする説明が必要となる。この指標についてのみ、計画策定時に把握できていなかった令和3年度実績値を基準値として用いているのは恣意的であると、疑われる懸念がある。

●区

計画の策定は令和4年度に1年間かけて行っているため、その際に把握可能な最新年度の令和3年度実績を①基準値としている。基本目標3 No. 1の区内ごみ量についても、①基準値は他と同様に令和3年度実績である。

●委員

一般廃棄物処理基本計画2021において、令和2年度の実績値を令和3年度の報告としていたのであれば、計画の連続性として、本評価の基準値は令和2年度の実績値を用いた方が良かったのではないかと。

●区

計画の整合性という点では、①基準値に令和2年度の実績値を用いるべきだったと思うが、①基準値は計画策定中に把握可能であった最新年度の令和3年度実績となっている。

●委員

個別計画とは異なる数値に修正するか否かについて検討していく。

●区

今回の評価では難しいが、整合性がとれていないと意見があった指標について、中

間評価や計画の見直しの段階を捉え、対応内容の検討を行いたい。

●委員

今回の評価については、補足の説明で対応し、今後の検討課題とする。

基本目標 6 No. 3、No. 4 の中央エコアクトについて、Web 化し 1 年で大幅に参加世帯数や申請件数が増加しているにも関わらず、表中で比較不可とするのは勿体ない。表中の記載について、Web 化したために単純比較はできないが、プラスの要素を示し、取組状況が分かるようにした方が良い。

1 年で 417 世帯参加というのが十分であるかという議論は別として、過去の実績値よりは取組が進捗している。

●区

取組が分かりやすく、よりプラスの表現となるよう、検討する。

●委員

基本目標 1 について、No. 1、No. 2 が後退し、No. 3、No. 4 が改善していることから、コロナ禍の影響もあるが、家庭からの排出量を減らすことが重要であり、No. 9 の自然エネルギー・省エネルギー機器等導入費用助成の取組をぜひ継続して行っていただきたい。No. 9 の②最終目標について、今年度は 300 件程の助成を行っているとする、今後も年 300 件を継続し目標値を高めることを想定しているのか、または②目標値は 1,035 件のままとすることを想定しているのか、確認させていただきたい。

●区

国の新型コロナウイルス感染症対応・地方創生臨時交付金を活用し物価高騰対応を行い、助成額を 2 倍にしたことで受付件数が大きくのびたが、当該交付金は令和 5 年度末で終了している。今年度の助成件数は 135 件となる見込みであり、順調に助成件数が伸びていくと、目標値を達成できると考えている。現状、目標値を変更する予定はないが、他指標と同様に、中間見直しの際に目標値が妥当であるのか検討していく。

●委員

先ほどもご意見が出ていたが、表の見方を追記いただけると良いと思う。

●委員

基本目標 4 No. 4、No. 5 の毎年度調査を行っていない指標について、「評価不実施のため比較不可」としているが、もう少し柔らかい表現にした方が良いと感じる。また、評価不実施とすると、調査をすれば良いと捉えられてしまうため、最も目がいく表中

の表現を工夫した方が良いと思う。

●区

区としての考えや行動を上手く示すことができる表現ができないか、全体を通して事務局で検討する。適切な表現が見当たらない場合は、現状の表現とさせていただく可能性もある。

●委員

「不可」とすると、できないという意味になるため、「未評価」、「今後評価」など、今は実施していないが、データが揃った際に行うというような表現にすることが考えられる。

基本目標3 No. 1とNo. 3は連動しているのであれば、文章を参照させるなど、2つの指標や取組の関係がより分かるように工夫いただきたい。

本日の議論を踏まえて事務局にて修正いただいた後、委員長一任で資料を確定として良いか。

●委員

異議なし。

(3)【報告】中央区環境行動計画推進委員会の公開について

●委員

事務局から資料3の説明をお願いします。

●区

(資料説明)

●委員

説明に対しご質問、ご意見はないか。

●委員

なし。

●委員

本日はここまでとする。

次回委員会：令和7年8月21日（木）14:00～、区立環境情報センター研修室

以上